

グループホームふれあい

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	12	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開業当時作り上げた中に、地域との関わりについての理念がなかったので、一部書き変えてグループホーム入口の右側に掲示しています。	1	校区、町内行事等にも進んで参加又、当施設での主な行事に対しても、民生委員様始め、町内の方々、子供達の参加が昨年に比べと増してきました。
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者様の生活歴をもとに、ご本人の発せられる言葉を大切にしながら支援を行っている。	1	センター方式導入を検討、家族会で情報シートの記載を相談依頼しているところです。（H20.2.2家族会）
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族や地域の方に ふれあい の行事に参加していただいたり、地域の行事等に参加する事で、利用者様の表情などを見ていただくと共に家族会や運営推進会議において、日常生活の状況を報告している。	1	会議等に参加される時少し時間に余裕を持って出席していただき、入居者、職員共々懇談が出来るよう努めています。
		2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	2	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	外出や買い物に出掛ける時は、名前入りのスタッフジャンパーを着用し、なじみの店に通いグループホームの認識を図っている。又、見学者があればいつでも快く受け入れ案内等を行っている。	0	
	5 外部評価3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の公民館の清掃に参加したり、小学校の行事の「どんど焼き」に参加し交流を持っている。又、選挙の時は地域の投票所に行き、地域の方の力をお借りし、投票する事が出来ました。	1	町内公民館の年間行事予定表等を入手施設としてはお手伝い出来る事があれば進んで努めている（老人会組織は無し。）	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	行事等に参加を呼びかけ、近隣の高齢者の状況を把握し、交流出来る機会があれば、話しかける事を心掛けています。	1	町内公民館主催の敬老会時に出席、挨拶宴会の席上でも勤めてはなし掛けるようにしています。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	1	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	それぞれが、自己評価に目を通し、空いた時間に評価に対して話し合いをしている、又、取り組んでいきたい内容についても具体的に話を進めている。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の状況、事業報告、事業計画、行政からの報告、包括センターからの報告、諸々の報告、意見を出し合い検討、改良出来る物は即実施に移し業務は職員で共有している。	1	会議終了後、運営推進員の皆さんに”会議報告書”の送付をしています。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	秋祭りや、豆まき等の行事には市の担当者に参加を呼びかけ、出席していただき日頃からの運営において、疑問点等がある場合は、その都度アドバイスを頂いている、又、市町村主体の学習会や研修会に参加し、質の向上に努めている。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	後見制度については外部研修を受け、その後職員に報告を行い、理解を深めている、現在1名の利用者が後見制度を活用している。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加し学んだ事をGH内で報告し全スタッフで理解し注意をすると共に、ご家族面会時に研修時に研修会での内容等を報告している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	5		
理念に基づき運営	4	理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を行う時は、契約内容を理解していただけるよう、分りやすく説明した上で、疑問点を尋ね、納得が得られるように解答し、入所当初は入所者の様子を家族に報告するように努めている。	1	入所当初は利用者様の不安が軽減出来るよう、出来るだけ多く面会をしていただけるよう、家族に声かけを行っている。
			13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が気持ちを伝えやすいような、雰囲気作りを行い、話を傾聴する。又、月2回のあんしん介護員により、情報を聞き入れたり、ご家族からも意見を聞くよう心掛けている。	0	
			14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	健康状態においては、日頃から利用者様の状況を観察し、変化が見られた時は、担当医への報告、相談し必要な時はご家族にも報告を行うようにしている。金銭管理については、家族会の時に出納帳及び、残金を確認していただき、押印を頂いている。	1	職員の移動については、ご家族の方に説明し、理解を得るようにしている、又、金銭管理については、ご家族が希望された時はいつでも報告できるようにしている。
			15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や家族会等で意見を聞けるような問いかけをしている、又、意見を聞いた職員は速やかに管理者に報告するよう指導している。	1	アンケート式で苦情を収集しようと試みましたが、記入した字で記入者が分るのではという家族からの意見があり検討を中止する。
			16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回、運営者、主任会議を開催、運営者から会社の状況報告、管理者、主任からは入居者の状況等聞く話し合いを設けている。	1	会議終了後”主任者会議報告”として職員全員が判る様に回覧している。
			17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	シフト変更を行い、利用者や家族の対応を柔軟に行っている。会社としても人員確保を協力している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が安心して日常生活を送れるよう人事異動には心掛けている。	1	急な欠員の場合は同設ふれあいホームからの補充を考えています。
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	1	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用にあたっては性別や年齢の差別は行っていない。各職員の得意とする事や趣味等を生かし手作りのおやつ作りやレクリエーションに取り入れている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	日頃から市町村の研修に参加しており、人権尊重に関して定期的ではないが研修での資料をもとにミーティングを行っている。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設では必要に応じて医師に相談全員で勉強会を開催している、又、市町村で行われる研修会には積極的に出席するよう促し、出席者に無理が無い様ローテーション等組んでいます。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	H19.4月から、グループホーム協議会に参加しその研修にも参加し、他の事業所との交流にも努めています。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年2回懇親会を開催、全スタッフとのコミュニケーションを計っている。	1	今年より、社内旅行の積み立てを行っている。近場の温泉他、3班に分けて旅行を考えてる。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各人が意欲的に仕事ができるよう、各職員に計画性を持たせ責任を持った態度で望んでもらう、又、研修会等にも可能な限り出席出来るようにしている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	6	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	1	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく り と その 対応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	研修会においても本人本意の介護ということを学び、本人自身との時間を作り、傾聴し本人の言葉を受け止める努力をしている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時など本人を交え世間話しや現状の話などの努めて時間を作っている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所に至るまでに個人の情報収集を行い、カンファレンスを行いながら、その時の状況に合わせて支援を行うよう心掛けている。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人の声がかつても家族に届き、その時に雰囲気と気分転換も出来る様な事を分っていただくよう、ご家族にご協力を頂きながら工夫を心掛けたい。	1	馴染みの物をご持参いただいたり、外出外食の同行や家族団らんの一時を作っていたい。
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	5	
係り と これ まで の 関係 づく り と その 対応	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	楽しいキッチンにおいて料理の仕方、味付けや、ご本人さんの自慢を一緒に体験したり学んだりし、同感を味わい関係作りをしている。	1	GH内での料理の日数を増やし、又違う趣味などを学ぶ。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日頃の生活状態の報告を家族会、面会時に行い、イベントへの参加を呼びかけている、外出の際は、利用者、家族、職員と共に楽しむようにしている。	1	イベント参加も多くなっている、又、別の色々なイベントを考えて沢山の参加を頂いている。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでの関係を続けていけるよう、時間を制限せず、面会に来ていただいたり、外出等で家族の時間を過してもらおう等している。	1	以前面会を拒否されていた家族が面会に来られるようになり、良い関係作りが出来ていると思う。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	30年前から通っていた、お寺参りを今でも月に1回は外出している、又、畑仕事をしたい方を実家の畑まで出かけ仕事を手伝いされる。	1	現在、実家への外出、外泊を行っていない利用者の方々は、職員が家族と共に協力し合いながら行っていきたい。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入浴拒否の方に、利用者さん自身声掛け、一緒に入浴し背中を洗ったりされている。	1	各個人との会話の時間をもっと持つ努力をしていきたい。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	グループホームを退去された利用者とは、その後の状況を連絡を受けたり、今後の介護について相談を受けている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	6	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	2	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を用いる事で、その方の生活環境を把握し利用者様やご家族と話をしながら本人本意とは、何なのかを考えながらケアに努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式導入を行い、利用者の人生歴を知る事によって支援を行っている。	1	現在キーパソンの家族を中心に情報を頂いているが、今後は、それ以外の家族からの情報もお聞きしたいと考えている。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その人らしさを一番に考え、その方の事を大切にしていける努力をし、日々の変化に対応出来るよう心掛けたい。	1	センター方式導入に伴いご家族とご本人と一緒に楽しい日々を送れる努力をしていきたい。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者様が心地よく暮していただけるように、ご家族の面会時や家族会等で話の時間を設け、利用者様本位の介護計画を作成している。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ミーティングにて変化が見られる、利用者に対しては、その都度、介護計画の変更を行っている。介護計画を変更する場合は、家族にも報告を行い、相談の上作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に記入を行い、日頃の生活で変化が見られる場合は、ミーティングを行い、ケアプランの変更を行っている。	1	個別記録の検討を行っている、より良い物が出来るよう全員で取り組んで行く。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	施設内に厨房がある為、調理等にはあまり参加してもらえないが、今後調理が出来る日を増やして行こうと検討中である。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	3	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署より非常時の訓練を行ったり、餅つき大会等においては民生委員の方を始め地域の方の協力を受けている。	0	
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	当事業所は、グループホームと高齢者アパートのみであり、ほかのサービスを利用する事が難しい状態である。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加していただき、その時に相談やアドバイスを受けている。	0	
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び、ご家族の希望がある時は、担当医に相談し専門医などの受診をなどをしている。	1	現場スタッフが手が離せないとき等は、事業所内の応援を頂いたり、ご家族の同行にて受診に出かけるなどをしている。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	担当医が認知症専門医である為に、質問したりして学ばせて頂き治療を行って頂いている。	1	担当医以外でもご家族の希望がある時は別の専門医受診にも了解を頂きDr同士で連携も頂いている。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホームの看護職員を中心にほかの職員の情報を元に、日常の健康管理に努め、担当医や専門医との連携のもと、支援を行っている、又、日中夜間を問わず、看護師や担当医に連絡が取れるような体制を作っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院された時は、その後定期的に、病院に通い状態把握を行うと共に、退院後のケアについてDrご家族、管理者を含め、相談をしている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入院中の利用者様の終末期について、話をしましたが、そのご家族は延命を望まず急変時には病院対応となった方がおられました。現在は時にお変わりなく過されています。	1	昨年も必要性を余り感じておらず、運営者とは相談のままの状態でしたが、利用者様とご家族が、どのような事を望まれているのか、話す機会を設けたいと思います。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在至っては重度や終末期の対象の方ではありません。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	グループホームから、当事業所内の高齢者アパートへの移動の際は管理者がケアカンファレンスに参加し、情報を共有し、新しい環境に慣れるまではグループホームの職員が顔を出し安心に繋がるように努めた。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	15	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	11	
		52 外部評価 23	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	1	
			プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	抑圧にならないような言葉掛けや対応を行い、職員同士で気付いた点を報告し合っている、個人情報の持ち出しは禁止している。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人が多数の人の前では表せにくい希望がある場合は、個別に相談し合える声かけを行っている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望に添えるようにスタッフは時間を調整している、外出を行い方には、その日のうちに掛けることにしている。	1	利用者の希望を第一に考え、日頃の生活を楽しく過せるように努める。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外出の際は化粧も行い、買い物に出掛けている、衣服の購入の際は家族と相談し本人が望む物を購入するようにしている。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週2回はグループホーム内にて利用者と職員で料理を行っている、食事の準備や片付けはやる気のある利用者と職員で協力しあい行っている。	1	利用者の希望を聞き入れ、本人の活力に合った支援を行っていく。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつで欲しい物があれば職員と出掛けて、利用者様が望む物を購入している。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを把握する事で、失禁等を減らすように努力してみましたが、利用者様の拒否等がある場合が多くなかなか、うまく出来ない、又、ダラダラと漏れのある方に対しては排泄の声掛けや誘導によって失敗を減らすことは難しい。	0	
59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、午後に行っている、利用者日中は毎日入浴出来るようにしている、希望の時間を伺い希望の時間に声掛けをして入浴支援をしている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	好きな時に自室に戻りゆっくりしていただけるよう季節に合わせてエアコン温度調節したり、ソファでの傾眠時には近くに枕、毛布などを準備など準備している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	4	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の希望にそって、買い物、食事準備、散歩などを行っている、外食希望される方へは、家族、職員と協力し合い行っている。	1	利用者が話される昔の事を理解し、今後の日々の生活に利用していきたい。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者本人で管理出来る方は、本人が持っていたいでいる、その他は金庫にて管理している、外出の際は個人で持っていていただき買い物をされる。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に沿って外出、散歩をしている。又、希望がなくても声掛けを行い買い物等に出掛けている。	1	近くのスーパーや本人が通っていた寺参りなど、又、季節に合った催しを見学に行ったりしている。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族と共に本人スタッフ付添いにて外食や近郊の季節を感じられる場所へ出掛ける。	1	近くファミレスや季節に合わせて、ゆり見学コスモス見学、柳川のお多福面くぐりや、さげもん見学、ご家族同伴にてピクニックに出掛けている。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯を利用し、ご家族と会話したり、手紙、はがきを頂き本人の変わりに読み聞かせている。	1	グループホームでの生活を家族に分っていただけるよう、こちらから写真や日頃の生活状態の報告を行っている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	時間にとらわれず、何時でも訪問出来るように声掛けを行っている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修等に参加し知り得た情報はミーティング等行い、情報の共有に努めている。	1	現在2名の利用者について、事故防止のためベッド柵を使用しており、その旨、ご家族の了承を頂いています。	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は一切鍵を掛けておらず、夜間は安全性を考え玄関は閉めている。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	自室にて独りで過したい方への確認、声かけを行い、安全性を保つようにしている、夜間は、2時間おきに巡視を行っている。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者が必要と思う物は、そのままに置いている、職員は利用者の行動を把握し安全性を保つようにしている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	日頃からヒヤリハットを記録し、その後の対応についても全職員に努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当の訓練等を行っていないが目の届く場所に、応急手当の対応マニュアルを置いている。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防署協力のもとに、総合火災訓練をしている、入居者の方にも避難を実際に外の避難場所まで非難していただき、総合評価を受けている。	1	地域の方々民生委員、地区の代表の方々に、総合火災訓練を行う時には、呼び掛けをして、参加を促し入居者の避難状況を見ていただき、消火器の使い方とかも一緒に参加をお願いしていきたいと思います。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個人のリスクに対しては、事前にリスクに対しての説明を行うと共にケアの変更がある場合は内容を説明し家族からの意見も聞き出せるように努めている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	3	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃の気付きの記録と、異変については介護日誌において申し送りで情報の共有に努めている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	詳しくは、理解していないが、定期薬以外に処方された服薬については確認。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日頃から排便の間隔を把握し、水分補給を多く取り入れたり、体を動かす事を心掛けている、又、服薬等で排便を促している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行っている、又、週1回歯科往診にてブラッシングを行っていただける。	1	職員は歯科医に相談をしブラッシングの内部研修を行う予定。
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	なるべく完食できるよう量の調節をしたり、水分はいつでも取れるよう設置し、その方に合った支援をしている。	1	体重増の方へは少し量を減らしたり水分は10時3時などには、本人が選べるよう、数種類の用事している。
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	風邪の季節には口腔ケア後に、お茶によるうがい施行や全入所及びスタッフ全員のインフルエンザ予防の注射をしたり毎食前の手指消毒をしている。	1	MRSAについては、主治医指導にて研修会を行って頂いたり疥癬予防に天気の良い日は布団を干したりしている。
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は出来るだけ、その日に使う分だけを購入、又、賞味期限を確認し使用している。調理用具等は、乾燥を行っている。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	4	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	4	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	特に工夫は無い。	0	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じて頂く様に工夫している。	1	生け花や造花により季節の花を玄関入口や床の間、リビングに用意したりさげもんでまりやひな飾り、正月飾り、クリスマスなど様々な工夫をしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間では気の合った方々が一緒にいられるように配慮を行っている。	1	ソファをいくつか用意し気の合った同士一緒に座って談笑されたりテーブルの方にもイスも用意し好きなように過して頂けるよう工夫している。
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と相談し一つでも昔から使用していた、家具の持ち込みを行った。	1	本人が好まれる様、洗濯物干しを用意して頂いたり、ご位牌を持参の方には毎朝のお茶線香あげお花飾りなど工夫している。
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	早朝入所者さんの起床される前に、窓を開け換気したり、季節に合わせエアコンの温度調節をしたり各部屋のエアコンの温度にも配慮している。	1	夜勤者により早期の空気入れ替え外気温との大きな温度差に配慮しエアコン調整している。
	(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
	87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	既設をグループホームで利用しているため、出来る範囲で安全を確保し安心して過せるような環境づくりをしている。	0		
	88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	本人本意を考え、好まれる事をに関しては進んで声掛けをしスタッフと共に共同で料理作りなどを行っている。	0		
	89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外に畑を作り、季節の野菜作りや収穫を行っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	3	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。